

令和 4 年度

二級水系流域治水協議会

県管理河川大規模氾濫に関する減災対策協議会

4 減災対策協議会 概ね 5 年間の取組について



具体的な取組の柱	事項	実施内容	実施時期	唐津市					玄海町					佐賀地方気象台															
				R4実施内容	R5実施内容(計画)	実施年度					R4実施内容	R5実施内容(計画)	実施年度					R4実施内容	R5実施内容(計画)	実施年度									
						R4	R5	R6	R7	R8			R4	R5	R6	R7	R8			R4	R5	R6	R7	R8					
予定	実施	未定	未定	未定	未定	未定	予定	実施	未定	未定	未定	未定	未定	予定	実施	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定		
② 地域住民・市民団体・関係機関の連携・協働による地域の将来を担う人材の教育・発掘に向けた取組																													
【避難場所や避難路の確保】																													
①	浸水や土砂災害による途絶を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の取組	土砂災害の危険に配慮した避難経路や避難場所の見直し及び避難計画の策定、及びその支援	継続実施	必要に応じ、民間と連携し避難場所を確保	必要に応じ、民間と連携し避難場所を確保	○	○	○																					
②	避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	避難所・避難経路の安全性の確認	H28年度から順次実施	これまでの避難状況等を考慮し、避難場所を見直す	これまでの避難状況等を考慮し、避難場所を見直す	○	○	○																					
③	浸水や土砂災害による途絶を考慮した基幹避難所等における備蓄の強化	民間事業者等と災害情報の収集、食料、資機材の供給、物資輸送等に関する協定を締結し、災害対応の強化	継続実施	市備蓄計画に基づき、備蓄拠点及び各避難場所に計画的に整備する	市備蓄計画に基づき、備蓄拠点及び各避難場所に計画的に整備する	○	○	○																					
④	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進（再掲）	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	継続実施	施設からの要請に応じ、対応	施設からの要請に応じ、対応	○	○	○																					
【長期浸水リスクの認知】																													
⑤	水防教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大（再掲）	水防教育、出前講座等を活用した講習会の実施	継続実施	自治会、自主防災会及び各種団体からの要請に応じ、出前講座を随時実施	自治会、自主防災会及び各種団体からの要請に応じ、出前講座を随時実施	○	○	○																					
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防意識啓発のための広範の充実（再掲）	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防意識啓発に資する情報の提供	継続実施	自治会、自主防災会及び各種団体からの要請に応じ、システム活用説明会等を随時実施	自治会、自主防災会及び各種団体からの要請に応じ、システム活用説明会等を随時実施	○	○	○																					
【水防活動等】																													
⑦	関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	自主防災組織、消防団、単地域防災リーダーを対象とした研修会の実施、及びその支援	継続実施	出水期前にCG空間情報収集システムについて操作確認等を実施	出水期前にCG空間情報収集システムについて操作確認等を実施	○	○	○																					
⑧	自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川部力関係との連携	自主防災組織、消防団、単地域防災リーダーを対象とした研修会の実施	継続実施	単地域防災リーダーフォローアップ講座において水防活動のコミュニケーションを実施する	単地域防災リーダーフォローアップ講座において水防活動のコミュニケーションを実施する	○	○	○																					
③ 洪水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組																													
【既存施設運用等】																													
①	洪水被害軽減のための既存ダム洪水調節機能強化の取組	ダム事前放流の実施																											
【水防資機材等】																													
②	水防資機材の保有状況の確認、見直し	水防資機材の保有状況の確認	継続実施	保有状況の確認	保有状況の確認	○	○	○																					





資料一〇

概ね5年間(R4~R8)で実施する取組

具体的な取組の柱		唐津土木事務所					実施年度					84年度以降の実施予定(案) (継続、完了、新規、閉鎖)	
		実施内容	実施時期	R4実施内容	R5実施内容(計画)	R6~R8							
						R6	R7	R8	継続	完了	新規		閉鎖
事項	具体的な取組項目					R4	R5	R6	R7	R8			
1. ハード対策													
■避難行動、水防活動、排水活動等に関する基盤等の整備													
①	出津避難所に資するための避難所案内看板の設置	避難所案内看板の設置										継続	市町対象
②	住民にわかりやすく水位情報を示すための水位レベル表示(量水標)の設置	住民の目につきやすい橋梁の種類などに、河川水位の危険度レベルを用いた水位情報標識の設置	H29年度から順次実施	水防管理者と意見交換を行い、住民の目につき箇所への量水標設置について検討を行う		○	×					継続	県対象
③	住民にわかりやすく水位情報を示すための距離標の設置	住民の目につきやすい河川の堤防に、河口からの距離、海抜を表示した距離標の設置										完了	県対象
2. ソフト対策													
① 水防災意識の向上と防災情報の確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組													
【水害リスク情報の共有】													
①	水害リスク情報を共有できるハードマップへの改良と周知及び活用の推進	ハードマップの改良と周知										継続	市町対象
②	水位想定河川以外の1級河川、2級河川を対象とした想定し難る最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図等の公表	水位想定河川以外の1級河川、2級河川の浸水想定区域図作成	H29年度から順次実施	水位想定河川以外の管内県管理河川の浸水想定区域図の策定に着手		○	○	○				継続	県対象
【防災意識の啓発】													
③	防災意識向上と迅速な避難に役立つマイ防災マップづくりと拡充	マイ防災マップの整備										継続	市町
④	防災意識向上と迅速な避難に役立つまちまちな防災マップ整備	まちまちな防災マップ整備										完了	市町
⑤	水防文化教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大	水防文化教育、出前講座等を活用した講習会の実施	継続実施	各種団体等からの要請に応じ随時実施		○	×	○				継続	全機関
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防防災意識啓発のための広報の充実	Webサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防防災意識啓発に関する情報の提供										継続	全機関
【リアルタイム防災情報の共有】													
⑦	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	同左										新規	気象台
⑧	防災気象情報提供環境の強化(アクセス集中対策強化)や浸降降水平帯の予測精度向上及び情報提供の改善(浸降降水平帯の可能性を広域に予測)	・防災気象情報を国民に提供する気象庁ホームページを強化し、災害時のアクセス集中時に防災気象情報を確実に提供できるようにする。 ・半日前から浸降降水平帯による大雨に伴う危険性を国民向けに呼びかける情報を県、市町単位で提供。 ・半日前から浸降降水平帯による集中豪雨に伴う危険度分布を提供など。										新規	気象台
【避難指示等の発令】													
⑨	避難に資した簡易版タイムラインの作成	市・町で作成している避難指示に資したタイムラインの作成・検証、及び精度向上に努む	H29年度から順次実施	必要に応じて、市町の(水害)タイムライン作成支援		○	-	○				継続	市町：作成県：支援
【住民等への防災情報の周知】													
⑩	防災情報総合サイトの活用と周知	防災情報総合サイトの活用と周知										継続	全機関
⑪	様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化(多様化)	あんあんメールや防災・減災さが等防災情報伝達(内容)の強化(多様化)										継続	全機関
【避難行動に関する訓練】													
⑫	避難に資した簡易版タイムラインに基づく実践的な訓練	市・町のタイムライン作成の及び訓練への支援	H29年度から順次実施	市町が実施するタイムラインと基づく訓練への支援		○	-	○				継続	市町：主体県：支援
⑬	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	H29年度から順次実施	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援		○	-	○				継続	市町：主体県：支援
⑭	水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施、及びその支援	H29年度から順次実施	共同点検の実施や避難訓練への支援		○	○	○				継続	全機関
【河川監視情報の共有】													
⑮	重要水防箇所の共同点検	県管理河川の重要水防区間のうち、危険箇所を抽出し、地域住民や企業など、出水期までに共同点検(合同点検)を実施	継続実施	県管理河川の重要水防区間内の危険箇所を抽出し合同点検の実施		○	×	○				継続	全機関

具体的な取組の柱	事項	実施内容	実施時期	唐津土木事務所		実施年度										84年度以降の実施予定(差) (継続、完了、新規、閉鎖)				
				R4実施内容	R5実施内容(計画)	R4		R5		R6		R7		R8						
						予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施					
③ 地域住民・市民団体・関係機関の連携・協働による地域の将来を担う人材の教育・発掘に向けた取組																				
【避難場所や避難路の確保】																				
①	浸水や土砂災害による危険を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の取組	土砂災害の危険に配慮した避難経路や避難場所の見直し及び避難計画の策定、及びその支援	H28年度から順次実施	避難経路や避難場所の見直し及び避難計画作成への支援	避難経路や避難場所の見直し及び避難計画作成への支援	○	○										継続	市町：主体 県：支援		
②	避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	避難所・避難経路の安全性の確認																継続	市町	
③	浸水や土砂災害による危険を考慮した基幹避難所等における備蓄の強化	民間事業者等と災害情報の収集、食料、資機材の供給、物資輸送等に関する協定を締結し、災害対応の強化																継続	市町	
④	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進(再掲)	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	H28年度から順次実施	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の実施への支援	○	○											継続	市町：主体 県：支援	
【長期浸水リスクの告知】																				
⑤	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大(再掲)	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施	継続実施	各種団体等からの要請に応じ随時実施	各種団体等からの要請に応じ随時実施	○	○											継続	全機関	
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実(再掲)	R4ウェブサイトなどあらゆる媒体を活用し雨量、水位及び地域住民の水防災意識啓発に関する情報の提供																	継続	全機関
【水防活動等】																				
⑦	関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会の実施、及びその支援	H29年度から順次実施	玉島川、横田川、半田川、半木川の全周知河川でホットラインの運用	玉島川、横田川、半田川、半木川の全周知河川でホットラインの運用	○	○	○										継続	全機関	
⑧	自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川部力関係との連携	自主防災組織、消防団、県地域防災リーダーを対象とした研修会の実施																	継続	市町
④ 浸水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組																				
【既存施設運用等】																				
①	洪水被害軽減のための既存ダム洪水調節機能強化の取組	ダム事前放流の実施																	継続	ダム事務所
【水防資機材等】																				
②	水防資機材の保有状況の確認、見直し	水防資機材の保有状況の確認	継続実施	保有状況の確認	保有状況の確認	○	○												継続	県、市町